

プロレタリア軍団全国学生評議会・結成大会

とき 十月五日 午前十時より

ところ 法政大学

公開政治集会

十月五日 午後六時 於・法政大学

十一月佐藤訪米粉砕の指標のもと、全国学園占拠を全国学園内乱へ！

＊ 首都六大学の占拠・奪取から、大学集中地域の占拠・反乱へ、新宿・全都反乱へ、全国反乱へ！

＊ 全共闘プロレタリア革命派のヘゲモニーのもと、法・早・明・東・日・中大全共闘を軸に、

全国学園占拠・反乱の参謀本部・全共闘全国評議会の構築へ！

☆ 全都・全国の学友諸君！

右翼五派、中間三派は、次のような内容で、全国全共闘連合の中央指導部を排他独占的に構築した。すなわち、学園占拠をブルジョア的生産関係の枠内での個別要求実現の圧力手段へと目的意識的に解消する右翼五派と、学園占拠の質を固定する中間三派と、この二つの潮流の無原則的野合において、まさにこの野合を体現するスローガンが、「十一月決戦」、「佐藤帝国主義内閣実力打倒」である。

すでに七月、中間三派の左翼としてのフロントは、この中央権力闘争→佐藤帝国主義内閣実力打倒を、十一月武装蜂起として行動課題を提出する赤軍派と、中央権力バクロ闘争（それは議会・ブルジョア秩序の枠内での「よりましな」政府表現の圧力闘争へと論理的に煮詰められる）として規定する右翼とに分裂した。

全共闘に結集する全都・全国の学友諸君！ この中枢課題に対して明確な解答を与えることなき、いかなるアジテーションも無内容な空語以外のなにものでもない。

☆ 学友諸君！

行動の課題として日帝ブルジョアシの政府の粉砕（すなわち「武装蜂起」）を提出する地点に、われわれは未だ到達してはいない。

闘争の焦点は、鮮明に、次のようにのみ提出されるべきである。

個別学園要求（東大七項目、日大九項目など）を止揚した、佐藤訪米粉砕、七〇年安保粉砕の闘争目標のもと、学園バリスト・占拠へ、更にこの闘争庄殺へと出動する学内外の日共民青、右翼ファシスト消滅の「学園の内乱」へ。まさにこの課題の枢軸的担い手として、全共闘プロレタリア公安委員会が構築されなければならない。

この質をもって九月→十月前半の全国学園占拠→内乱を貫徹し、その達成のもとに、東大・日大の奪還へ、進撃せよ！

☆ 法政、早稲田、明治、東大、日大、中大の全共闘に結集する学友諸君！ 十月前半にいたる一時期に、十一月佐藤訪米粉砕全学バリスト・占拠の指標のもと、諸君の学園の日共民青、右翼ファシスト武装部隊をセンメツし、全共闘による学園支配を強化し、それをもって十月下旬→十一月前半佐藤訪米粉砕・大学集中地域・新宿・全都反乱の基地として、この主要六大学を打ちかためよ！

右翼五派、中間三派の野合指導部を解体し、学園の内乱→武装反乱の路線を貫徹する法・早・明・東・日・中大六大学全共闘の戦線の構築をかちとれ！ これを突破口として、全国全共闘プロレタリア革命派は、学園占拠・反乱の機関＝全共闘全国評議会の構築へ、進撃するであろう。

全共闘プロレタリア革命派は、社会民主主義特権官僚の手先＝左翼的安全弁として育成されている社青同解放派が、全共闘戦線の内部において、学園占拠→反乱闘争を社民官僚が「政権」に近づくための圧力手段へと変質させようとする、この反革命的策動を粉砕するであろう。

☆ 全国の学友諸君！

右翼五派、中間三派の無内容な「中央・全国動員」路線を拒否・粉砕し、まさに諸君みずからの学園と都市において、学園

・街頭占拠→反乱の戦線を構築し、日帝ブルジョアシ国家権力の第一線＝警察部隊を各個に分断し、センメツせよ！

一九六七年秋、開始された武装反乱闘争のプロレタリア的展望は、次のようにのみ規定されなければならない。すなわち、

日帝ブルジョアシの生産手段を、各個に、その弱い環において占拠し、学園工場街頭の内乱を媒介としてそれらを奪取支配し、まさにそれを武器へと転化して、日帝ブルジョアシ国家権力の公的武力弾圧部隊を各個にセンメツしてゆくこと。

☆ 全共闘に結集する学友諸君！ こうした方向へと進撃する全共闘プロレタリア革命派は、全共闘戦線を議会主義的闘争の補足物たらしめようとする全共闘内右翼五派を解体粉砕し、且つこれら右翼五派との無原則的なれ合いを行なわんとする中間三派の動揺を克服するであろう。

☆ 大学全共闘全国評議会を、労学兵士会共闘全国評議会へ！ 開始された武装反乱の深化成熟へ！

☆ すべてのプロレタリア階級闘争を、占拠・武装反乱・武装蜂起・国内革命戦争を媒介として、国際・世界革命戦争へ！ の基調スローガンのもと、プロレタリア軍団全国学生評議会を強固に構築せよ！

一九六九年九月五日

武装蜂起準備委員会参謀本部政治局
プロレタリア軍団全国学生評議会（連）